

- 問1 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問2 743年に出来、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広げた法律を何という？
- 問3 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？
- 問4 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 問5 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？
- 問6 鎮護国家の思想のもとで制作された、興福寺にあるこの時代を代表する仏教彫刻を何という？
- 問7 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？
- 問8 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？
- 問9 奈良時代、政府による統制が強まる中で、民衆の間を巡り歩いて深く信仰を集めた宗教を何という？
- 問10 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？
- 問11 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？
- 問12 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問13 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問14 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？
- 問15 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？
- 問16 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？
- 問17 大化の改新以降、土地や人民はすべて国家のものであるとした原則を何という？
- 問18 万葉集にある歌の序文から引用された、現在の日本の元号を何という？
- 問19 唐の進んだ政治制度を取り入れ、戸籍に基づき天皇を中心とした強力な国家体制を整えるための法体系を何という？
- 問20 聖武天皇が鎮護国家を目的として、全国各地に建立させた官立の寺院を何という？
- 問21 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？